

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 安東秀 役職 / official position : 准教授

| |
|---|
| 1. 研究テーマ / Research Theme |
| 量子センサー、スピンセンシング・イメージング、ナノMRI、ダイヤモンドNV中心 |
| 2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修A科目(先端)又は研究支援科目(融合)の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects. |
| 自身で課題を設定し解決していく能力、他者や社会に成果を説明・発信する能力の修得を目指します。このために、まず、簡単な実験を通して自身で実験データの取得、解析、まとめ、発表ができる能力を育成します。その後、自身でチャレンジングなテーマを設定、解決していくことにも取り組みます。研究を通じて、英語の文献読解力、コミュニケーション能力、装置開発能力の修得も重視します。 |
| 3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle |
| 量子センシング・イメージングの研究を通して、量子技術、なかでも量子センサーや量子コンピューティングデバイスへの応用へ繋げることを目標に、材料物性の基礎を理解し“確かな知識”、課題を自ら設定し“自由な発想力”、解決していく能力“課題解決能力”を育成します。日々の研究において議論の場を多く設定し、コミュニケーション能力を高めます。課題を解決する手段としての新規計測手法の開発と光学技術の取得にも取り組みます。意欲溢れる皆さんが研究に参加し“わくわくする”研究の醍醐味に触れ、将来の活躍の基礎を確立する場を提供します。 |
| 4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities |
| <input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : 朝ミーティング <input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 学生セミナー、研究室セミナー <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : 個別ミーティング <input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 研究室集会、技術勉強会、学会発表、合宿 |
| 5. 年間スケジュール / Annual Schedule 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP参照: ホーム>教育>履修関係>履修案内) Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home>Education>Taking Courses>Degree Completion Guide) |
| ・研究室内新入生研修 (4-6月) ・研究室合宿 (8月) ・応用物理学会参加 (9月、3月) ・国際会議参加 (年1回) |